

学力向上推進拠点校指定事業 第2回連絡協議会

7月14日（金）に第2回連絡協議会を開催しました。5校時の授業をすべて公開し、6校時に連絡協議会を実施しました。各地区の教育事務所や市町教育委員会の指導主事、学力向上推進拠点校の担当者、直方市教育委員会の22名の方が集まり、本校の研究の推進について様々な助言をいただきました。

<研究主題>

意欲的に学び、思考力・判断力・表現力を高める授業の創造

～効果的に ICT 機器を活用した授業改善を通して～



【家庭科】

めあて：自分の生活に役立つ食品について食品表示をみて選ぶ。

ウインナーの食品表示等を参考に、賞味期限、食品添加物、量などを視点に選びました。また、最後に価格という視点を与えることで、考えを再構築させることができました。

【社会科】

めあて：中部地方の気候について、雨温図を用いて説明しよう。

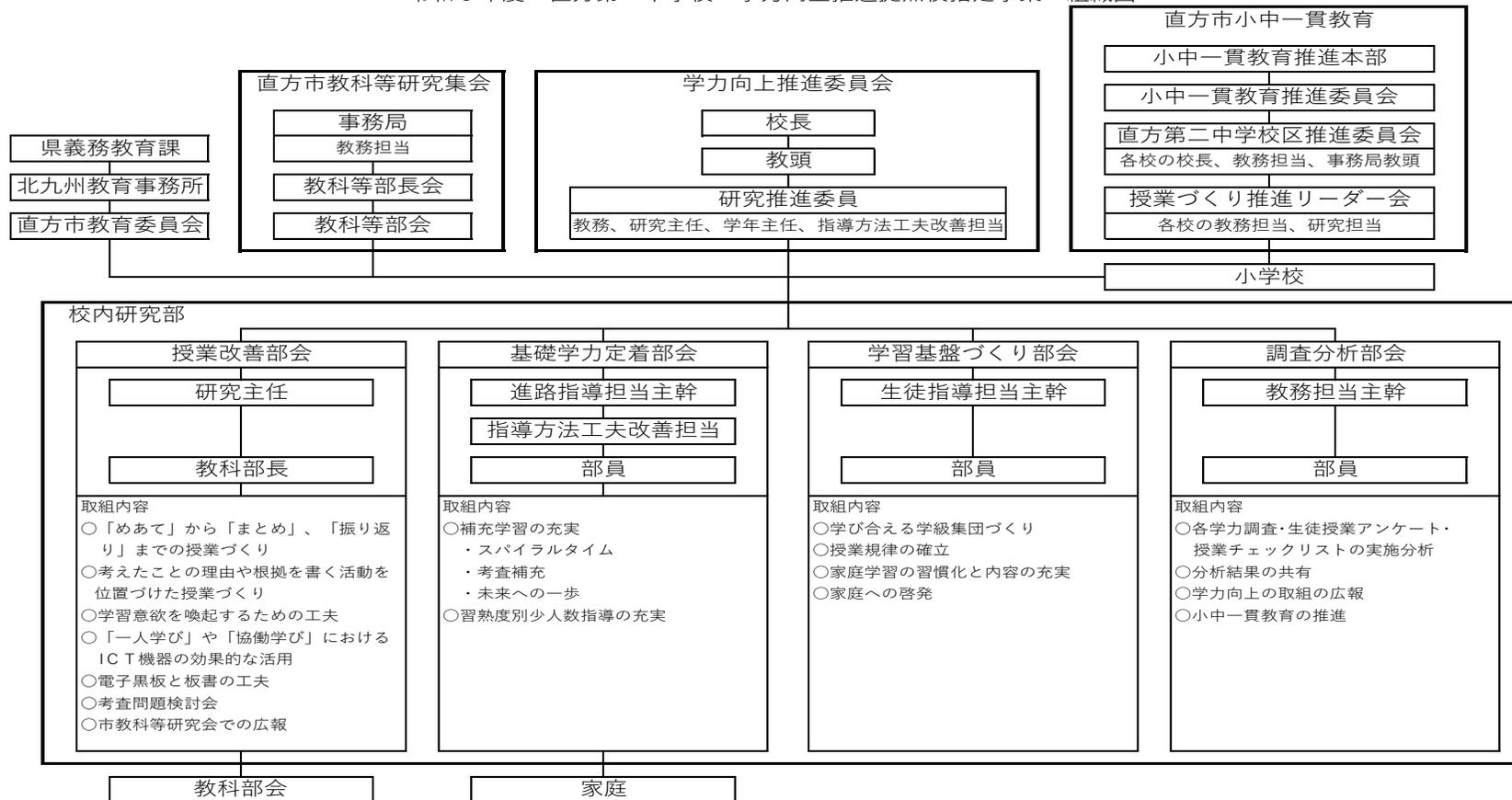
中部地方の気候をロイロノートで送られた雨温図から班で話し合い根拠を明らかにして説明することができました。

今後の研究の方向性について

- ・ 授業デザインの共有
- ・ 研究の目的を達成した生徒の姿のイメージの共有
- ・ 主眼達成のための手立てとしてのICT機器の効果的な活用の在り方
- ・ 組織図におけるそれぞれの組織・部会等での取組指標の作成

【研究組織図】

令和5年度 直方第二中学校 学力向上推進拠点校指定事業 組織図



【研究構想図】

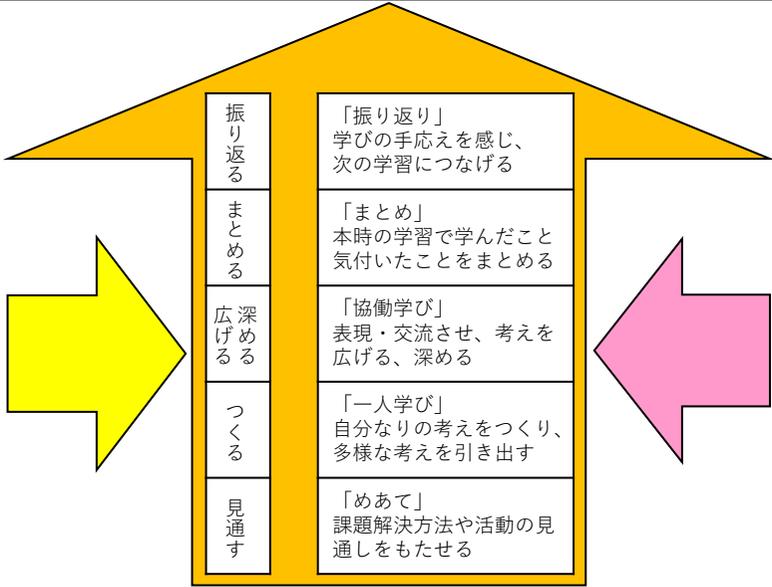
意欲的に学び、思考力・判断力・表現力を高める授業の創造
 ～効果的にICT機器を活用した授業改善を通して～

授業づくり

着眼1
 単元や授業の過程における、
 学習意欲を喚起するための工夫

(例)

- ・生徒の既習知識とのずれを生み出す事象（内容）の提示
- ・意欲的に追求するための「めあて（目的・方法・活動）」づくり
- ・学習の見通しをもたせるためのICT機器の活用
- ・振り返り活動による自己の成長確認など



着眼2
 「一人学び」や「協働学び」における、
 自分の考えをつくり、
 広げたり、深めたりするための
 ICT機器の効果的な活用

(例)

- ・考えをつくるための情報収集
- ・多面的・多角的な考えをもたせるためのシンキングツールの活用
- ・ヒントとなる情報の配布
- ・ロイロノートによる考えの発信・共有など

・授業や家庭学習に対する意欲が低い。
 ・思考力・判断力・表現力に課題があり、四分位層のA層の割合が低い。
 ・授業においてICT機器の活用が不十分である。
 ・まとめや振り返りが十分にできていない。

組織づくり

学力向上推進 委員会	教科部会	研究部会			
		授業改善部会	基礎学力定着部会	学習基盤づくり部会	調査分析部会
・研究の方向性の確立と共有 ・PDCAサイクルの確立など	・教科等研究集会 ・定期考査問題、指導案の検討など	・授業づくりの取組 ・ICT機器の効果的な活用など	・補充学習の充実 ・習熟度別少人数指導の充実など	・授業規律の確立 ・学び合える学習集団づくりなど	・学力調査の分析 ・授業チェックリストの実施分析など